

Virgilius Maro, Publius

Bucolica, Georgica, et Aeneis.

Inv. per Girodet Trioson, sculp. per Jacque L. Copia [et al.].

Parisiis, Petrus Didot, Natu Major, 1798.

572p. 23 plates (copper mono.). 49×35cm. <K726. 5-G> 文献番号 8-2

ウェルギリウス『詩選（田園詩）』『農事詩』『アエネーイス』

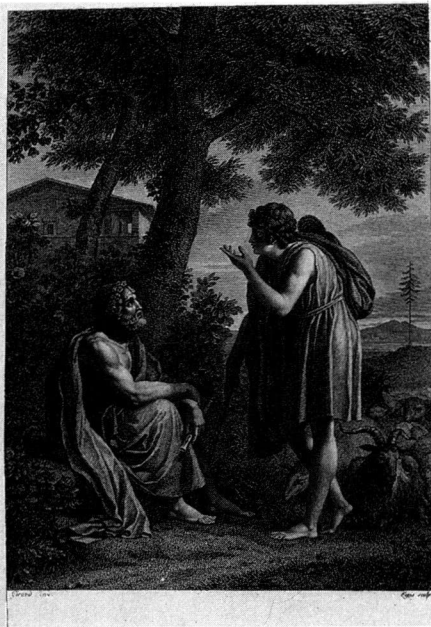
本書は、ローマのアウグストゥス時代の大詩人プブリウス・ウェルギリウス・マロー（B.C. 70-B.C. 19）によるラテン語の詩『詩選（田園詩）』『農事詩』『アエネーイス』を、18世紀末にパリのピエール・ディドが、新古典主義の画家ジェラルール、ジロデらの銅版画23点を入れて出版した豪華挿絵本である。大型フォリオ判で、表紙は赤モロッコ革装に金の装飾紋様が施され、裏側はダークブルーのモロッコ革に金の刺繍文様が箔押しされている。限定250部の内、第47番。出版者ディドのサイン入り。箱付き。

ウェルギリウスはマントヴァ付近の小村アンデスに生まれ、ローマに出て哲学、医学、修辞学の高等教育を学んだが、その後は自家の農園で詩作に専念した。この田園生活は、『詩選（田園詩）』『農事詩』に色濃く反映されている。5～6年の執筆を経てB.C. 37年に発表された『詩選（田園詩）』は10編の詩から成り、牧神や男女の羊飼いの対話を表わした定型的な牧歌調の詩篇。ウェルギリウスはこれによって詩人としての地位を築き、芸術家の庇護者マエケナスの知遇を得、さらにアウグストゥスの愛顧を受けることになった。続いてB.C. 30年に、7年の歳月をかけた『農事詩』4巻を発表する。これはギリシアの叙事詩人ヘシオドスの『仕事と日』を範として書かれたもので、各巻ごとに穀物の栽培から家畜の飼育、養蜂までが扱われている。そしてそれ以後、作者の死までの11年間で、大作『アエネーイス』の執筆に当てられたが、遂に未完に終わった。全12巻の内容は、トロイアの王子アエネーアースがトロイア落城後、第二のトロイアであるローマを建国するまでの物語であり、ローマ帝国に対する愛国的国民叙事詩である。初めの6巻はトロイアからイタリアに至るまでのアエネーアースの放浪の旅を表わし、ギリシアのホメーロスによる『オデュッセイア』に範をとり、後半の6巻はイタリアのラティウム上陸後の原住民との激しい戦闘が描かれ、『イーリアス』になっている。

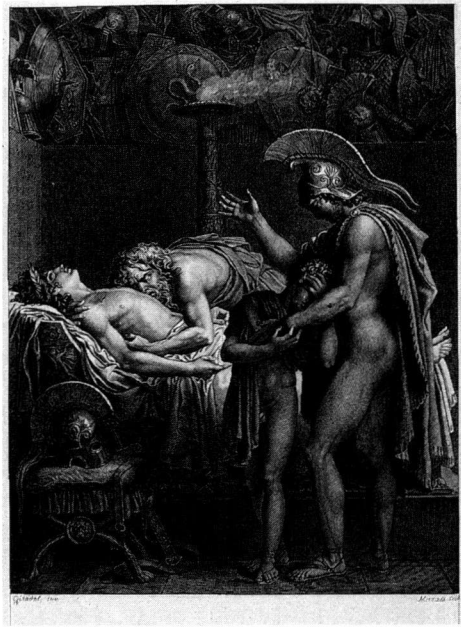
ウェルギリウスは後世、ローマの詩聖として文学・芸術に多大な影響を与えたが、ことに本書の刊行された帝政時代に先立つフランスでは、ローマ帝国への興味の高まりとともに大きな人気を博したものと推察される。本書を出版したディドは、挿絵入り本の出版で18世紀末から19世紀前半にかけて隆盛した出版者一族で、父フランソワ＝アンブロワーズ・ディドが創業し、ピエール（Pierre Didot, 1761-1853）と弟フィルマンが後継した。革命後、ディド出版はルーヴル宮の元王立印刷所の後に印刷機を据えることを許され、ここで「ルーヴル出版」と通称される、本書を含む4冊の主要な挿絵本、ウェルギリウス

(1798), ホラーティウス (1799), ラシーヌ (1801), ラ・フォンテーヌの寓話 (1802) が印刷された。

ディドが挿絵を依頼したのは、当時フランス画壇の中枢にいたダヴィッド (Jacques Louis David, 1748-1825) の弟子の画家たちである。本書の挿絵を描いたジロデ=トリオゾン (Anne-Louis Girodet-Trioson, 1767-1824) は、ダヴィッドの弟子の中でも年長で、ナポレオンに重用されて、コンピエーニュ城の皇帝と皇后の居室の装飾を手掛けている。またジェラルール (François Gérard, 1770-1837) は肖像画家としても人気を博し、「レカミエ夫人の肖像」(1805年) が有名である。本書には、ジロデ=トリオゾン原画による扉絵と、『詩選 (田園詩)』にジェラルール原画による6点、『農事詩』にジェラルール原画による4点、そして『アエネーイス』にジロデ6点、ジェラルール4点、無署名2点の計23点の挿絵が、コピア (J. L. Copia, 1764-99), マレ Marais, デリニョン Delignon, ゴドフロワ Godefroy 他により、エングレーヴィングに版刻され、詩篇の各巻を飾っている。版刻者によって若干の違いは生じるが、やや甘く叙情的な画風のジェラルールの挿絵は、『詩選 (田園詩)』の羊飼いの青年や、彼を取り囲む瑞々しい樹木の表現にふさわしい(図左)。ジロデの画風は新古典主義の理想的な人体表現と、かっちりした画面構成が特徴で、それが『アエネーイス』後半の多数の人体が交錯する戦闘場面などに活かされている。図右は第11巻、部下パルラスの遺骸を老いた父に引き渡したアエネーアース(前景右、兜の人物)を表わす。アエネーアース軍はこの後再びルトゥリー族と闘い、遂に打ち破ることになる。(小勝)



『詩選』 pl. 1



『アエネーイス』 pl. 11